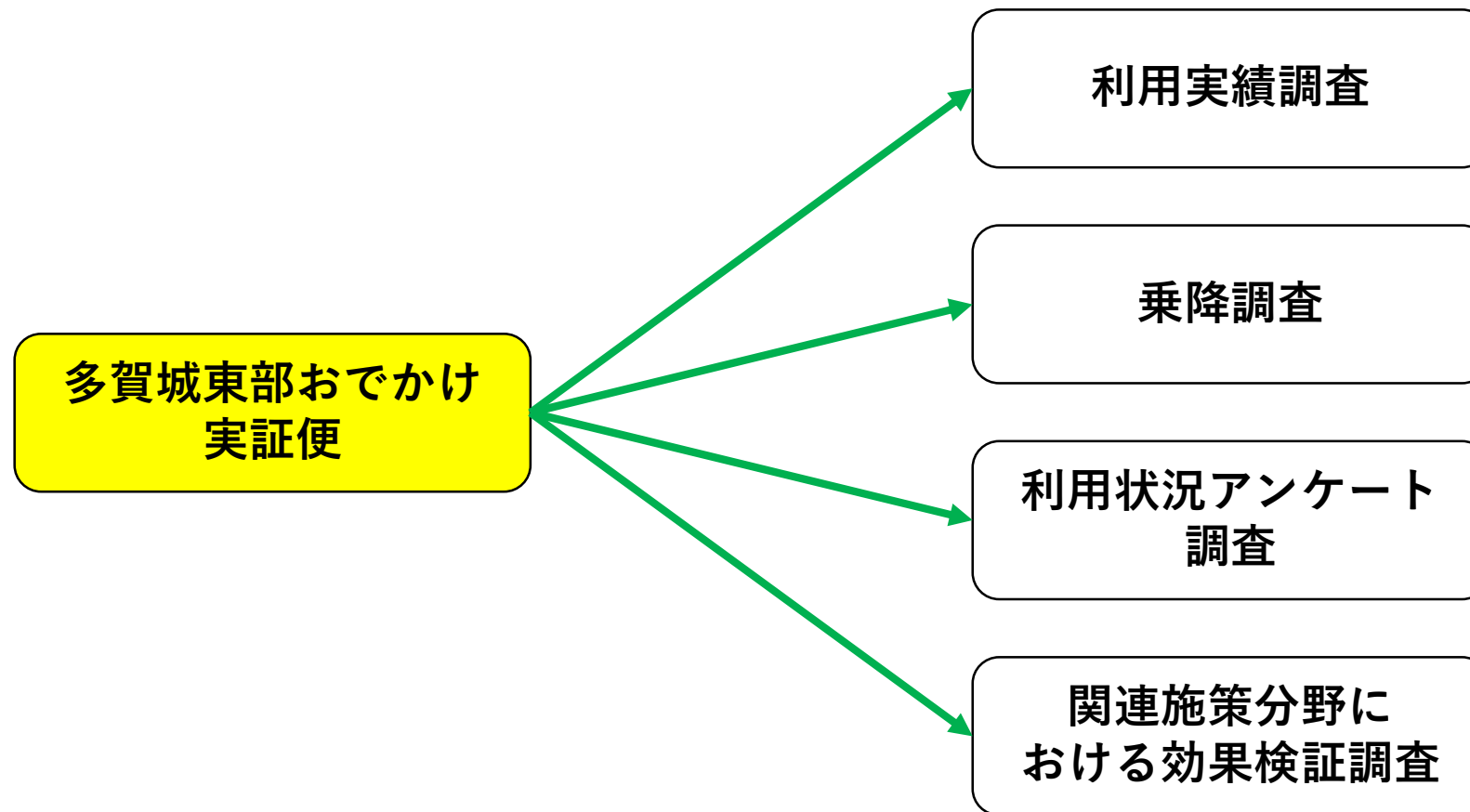


「移動の足」確保プロジェクトに係る各種調査について

交通不便地域の解消や持続的な高齢者等の「移動の足」確保に向けて実施する実証運行について、設定した評価指標により事業効果を検証するために実施する各種調査について協議するもの

Ⅰ. 各種調査体系



2. 利用実績調査

利用状況を定量的に把握し、実証運行全体の妥当性を検証する。

項目	内容
実施時期	実証運行期間（令和8年10月1日から令和9年1月31日まで）
調査手法	①運転日報、②降車停留所記録、③運賃収受実績
確認項目	①利用日、②便番号、③利用者数（曜日別、時間帯別）、④降車停留所、⑤運賃区分、⑥運賃収入、⑦のるもんパス利用人数、⑧乗継証明書利用人数
分析内容	①月間利用者数、②便別、停留所別、曜日別、時間帯別利用傾向、③収支率

3. 乗降調査

詳細な停留所別の乗降実態及び利用区間を把握し、運行ルート、停留所設置及び運行ダイヤの妥当性を検証する。

項目	内容
実施時期	令和9年1月（2日間予定）
調査手法	運行車両尾行による停留所別乗降及び車内人数、利用者別の乗降停留所記録
調査項目	①乗車停留所、②降車停留所、③車内人数
分析内容	①OD分析、②利用集中箇所、③車両規模の妥当性、④運行ルート、停留所設置の妥当性

4. 利用状況アンケート調査

利用経験者の利用実態、満足度に加え、利用未経験者の利用阻害要因等を把握する。

項目	内容
実施時期	令和8年12月（ただし、Web回答については、令和9年1月までとする）
調査方法	①車内配布（利用経験者向け） ②沿線施設等への配架（利用未経験者向け） ③Web回答（共通）
設問（案）【共通事項】	①実証運行利用有無、②実証運行認知状況、③属性（年代、性別等）、④自由記述
分析内容	①利用経験者・利用未経験者整理、②周知状況の把握、③クロス集計、④定性的評価の把握

4. 利用状況アンケート調査

【利用経験者向け】

項目	内容
設問（案）	①利用日、②利用便、③乗降停留所、⑤利用目的、⑥利用頻度、⑦実証運行がなかった場合の移動手段、⑧外出機会、⑨行動範囲の拡大状況、⑩満足度（全般、ルート、ダイヤ、乗り継ぎ、運賃、乗りやすさ）
分析内容	①利用実態（利用目的、利用頻度）、②事業創出効果（外出機会、社会参加）、③サービス評価

【利用未経験者向け】

項目	内容
設問（案）	①利用未経験理由、②普段の交通手段、③利用するための条件
分析内容	①利用未経験理由、②移動実態、③利用条件

5. 関連施策分野における効果検証調査

関連施策分野における効果や課題、今後の連携可能性等を把握する。

項目	内容
調査期間	令和8年12月
調査方法	郵便・メール・FAX等により調査票を配布・回収（必要に応じてヒアリング実施）
調査対象	①交通事業者（実証運行事業者、その他交通事業者）、②多賀城市役所、③地域包括支援センター（東部）、④社会福祉協議会、⑤商工会、⑥観光協会、⑦スポーツクラブ、⑧大代地区公民館、⑨多賀城高校、⑩医療機関（東部エリア）、⑪商業施設
設問（案）	①実証運行の把握、②実証運行による効果や変化、③実証運行の課題・不足点、④本格運行の必要性、⑤連携の可能性、⑥自由記述
分析内容	①波及効果、②第三者視点の課題、③本格運行の必要性、④関連施策分野との連携可能性
設問（案） 【実証運行事業者のみ】	①運行管理上の課題、②利用者の属性、③車両規模の評価、④運行ルート等の課題、⑤収支面の課題、⑥本格運行への体制確保の可能性、⑦本格運行への条件等、⑧自由記述
分析内容 【実証運行事業者のみ】	①利用者特性及び利用傾向、②運行上の課題及び改善事項、③本格運行時における運行体制の実現可能性、④事業性及び継続可能性

6. スケジュール

項目	8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
■各種調整																
■運行許可申請																
■実証運行																
■利用実績調査																
■乗降調査、利用状況アンケート調査、関連施策分野における効果検証調査																
■成果とりまとめ																
■実績報告																
★地域公共交通協議会				各種調査案									実績速報値報告			